

コード	30301
作成年度	24年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	在宅福祉サービスの充実
--------	-------------

総合計画の位置付け	
政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実
施策名称	お年寄りの元気を支える体制づくり

課コード	110	関係課名	
主管課名	福祉長寿課		

## 基本事業の目的

介護保険制度による介護保険事業の円滑な推進を図ることを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	介護給付費	成果指標名称 2	地域支援事業費
成果指標の積算根拠	実績値÷第5期計画値	成果指標の積算根拠	実績値÷第5期計画値
目標達成年度	平成24年度	目標達成年度	平成24年度
目標達成数値	2,745,515千円	目標達成数値	43,000千円

年		度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
成果指標 1	目標 A	単位	千円	2,127,207	2,430,603	2,504,500	2,550,188	2,745,515
	実績 B		千円	2,334,632	2,452,180	2,550,142	2,674,885	
	達成率 B/A		%	107.5	100.9	101.8	104.8	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	65,055	54,428	60,883	62,069	43,000
	実績 B		千円	59,232	55,917	56,834	37,554	
	達成率 B/A		%	91.0	102.7	93.4	60.5	

1次評価	現状	第4期計画最終年度の介護給付達成率104.8%で前年比3%増と計画目標を相当上回る結果となりました。これは、認定者の伸び、それに伴う給付費の伸び等が考えられます。また、財源不足のため23年度は、県介護保険財政安定化基金から借入を行っております。更に新規施設開設の情報もあり、24年度についても厳しい運営が予想されます。
	課題	要介護認定者の出現を抑えることで、給付費の削減に繋がるのではないかと考えられます。また給付費の増大に伴い財源不足が生じており、財源確保のための保険料収納対策の更なる強化、給付の適正化を図って行く必要があると考えられます。
	改善	予防事業の積極的な取り組み、収納対策の進め方及び給付の適正化のケアプラン点検等を実施していく。

2次評価	介護給付費が年々増加しており、地域支援事業の取り組みを強化して、要介護者の出現を抑え介護給付費の抑制に努めること。また、利用者の要望に対応した介護保険制度の効率的な運用を図ること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

## ◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	303010112	介護保険計画策定事業	福祉長寿課	2,168千円	(事後) 平成23年度で事業完了
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				2,168千円	